



北米最大規模の旅行博 Travel & Adventure Show

(一財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所

Travel & Adventure Show の概要

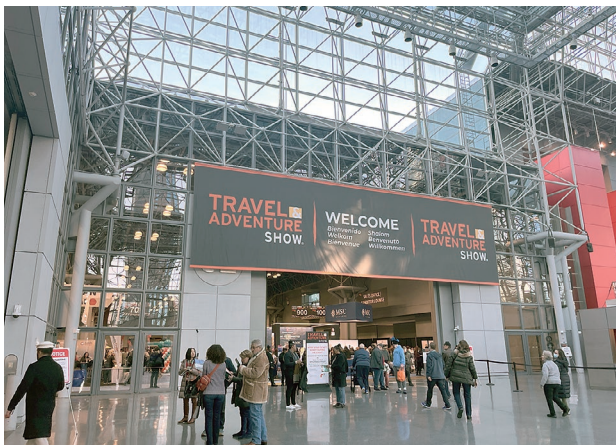
2023年1月28日・29日に、ニューヨーク市のジャビッツ・コンベンションセンターにおいて、全米各地（シカゴ、ワシントンD.C. など計9エリア）で行われている北米最大規模の旅行博である Travel & Adventure Show が開催されました。ニューヨークでは、2020年まで毎年 The New York Times Travel Show という旅行博が開催されていましたが、2023年は New York Travel & Adventure Show として初開催されました。会場では、地域・国別のブースなどによるエキシビションのほか、ステージイベント、スピーカーイベントなどが催されました。イベント期間中、175か国以上から750団体がブース出展し、クリアニューヨーク事務所も日本政府観光局（JNTO）ニューヨーク事務所が主催するジャパンプースに共同出展しました。

「Japan」のハンギングバナーが目を引いており、他のブースに比べても多くの方に立ち寄っていただくことができました。



ジャパンプースの一角

来場者の年齢層は2022年11月に同会場で開催された Anime NYC と比べると高く、また家族連れの来場



会場入口

官民一体で日本を PR

ジャパンプースでは、旅行会社、航空会社、ホテルといった民間企業のほか、米国内に拠点を持つ自治体など計14団体が出展しました。ジャパンプースは大きな



クリアブース

者も多い印象でした。クリアブースでは、他のブースとの差別化を図るため、アニメの聖地巡礼マップやアニメにゆかりのある地域を紹介した自治体パンフレットを配布するなど、日本のポップカルチャーを中心とした観光PRを行いました。

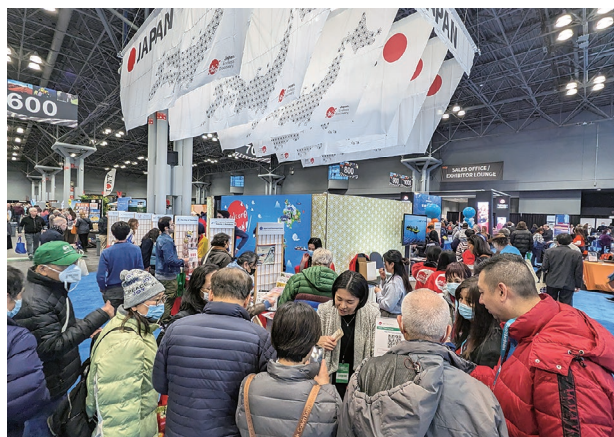
来場者は、アニメに関連する訪問先のほか、桜をはじめ日本の自然を楽しむことのできる地域についても高い関心を示していました。また、日本に行ったことがある、日本語を勉強しているといった方からは、流暢な日本語で話しかけられることもありました。こうしたコアな日本ファンの方からは、「東京や大阪、京都には行ったことがあるから、次に行くべき都市を教えてください」といった声も聞かれました。コロナ禍のピーク時に比べて、具体的に旅行時期や訪問先を検討されている方が多い印象を受けました。



自治体のノベルティグッズを手にする来場者

また、本イベント開催1年ほど前から円安ドル高の傾向が続いていることから、ドル換算で日本行きの航空券やホテルなどの概算額を伝えると、そのお得感に驚いている来場者の方も多く見られました。特にニューヨークは物価水準が高く、比較的収入が高い方が多く住んでいることから、日本への旅行はその品質に比べて非常に割安に感じるようです。

ジャパンプースには、一般の来場者の方だけではなく、世界各国から参加している出展者も多く立ち寄り、日本への関心の高さがうかがえました。JNTOが実施したジャパンプース全体のアンケートでは、回答者に提供していたバンブーカトラリーセットが2日目の昼頃には全てなくなるほど大盛況でした。



ジャパンプースでのアンケート実施の様子

さらに、クリアブースでは、2月下旬にニューヨーク市ブルックリン区でクリアが主催するイベント（日本ふるさと名産食品展）のPRを行いました。また、旅行博の翌週からニューヨークに隣接するニュージャージー州において日本の自治体が開催する県産品フェアについても、来場者にチラシを配布し、来場を呼びかけました。

今後のイベント出展について

クリアニューヨーク事務所では、北米から日本へのインバウンド促進や、日本の食や文化をPRすることを目的として、ニューヨークのみならず米国の主要都市において様々なイベントに出展しています。2022年秋ようやくコロナ禍以降初めて一般の外国人観光客も日本に入国できるようになり、米国においても日本への旅行熱の高まりが感じられるようになりました。当事務所では、こうしたイベントなどの機会を活用し、日本の地域の魅力を伝えるとともに、各自治体による活動においても、当地での関係団体との連絡調整や物的・人的支援を行っております。北米での経済活動を検討される際には、ぜひ一度当事務所へご相談ください。



県産品フェアのチラシを手にとる職員と記念撮影